

西地区ケーブルテレビ網整備の実施設計を完了

市は「高梁市情報化計画」に基づき、一体性のある情報発信や緊急通信が可能となるよう、情報通信基盤整備に取り組んでいます。今月号からシリーズで、市の情報化についてお知らせします。

平成21～22年度に予定している、高梁西地区のケーブルテレビ網整備の実施設計が完了しました。

平成21年度は川上地域全域と

備中地域南部(備中地域局より南部)の約1500戸、平成22年度には備中地域北部(備中地域局より北部)の約1000戸の整備を予定しています。

主な整備内容は、次のとおりです。

- ① 伝送路(光ファイバーおよび同軸ケーブル)を約7000本の電柱に添架し敷設
- ② 中継局を各地域に設置

なお、今後、地元説明会を順次開催していく予定です。

■ 問い合わせ 総合政策課総合政策係 (TEL) 0886

＜整備エリア＞

- 平成21年度予定
- 平成22年度予定



市職員を募集

■ 問い合わせ・受付場所
〒716-8501 高梁市松原通 2043
高梁市役所 総務課職員係 (TEL) 0205

募集職種	採用予定人員	受験資格	一次試験の内容	一次試験日と試験会場	受験申込の受付期間と手続き
看護師	4人程度	昭和39年4月2日以降に生まれた人で、看護師免許を有する人	・教養試験 ・作文 ・適性検査	5月31日(日)	<p>▶ 受付期間 5月14日(木)までの午前8時30分～午後5時15分(土・日曜日、祝日を除く)</p> <p>▶ 郵送による申し込み 5月12日(火)の消印までを有効とし、それ以降のものは受理しません。受験票送付のため、あて名を明記し、80円切手を貼った返信用封筒を同封してください。</p> <p>▶ 申込用紙の配布場所 市役所総務課、国民健康保険成羽病院事務局、各地域局、各地域市民センター ※市ホームページからもダウンロードできます。</p>
保育士	1人程度	昭和57年4月2日以降に生まれた人で、保育士資格を有し、かつ幼稚園教諭普通免許(1種または2種)を有する人	・教養試験 ・専門試験 ・作文 ・適性検査	総合文化会館 (原田北町1212) (TEL) 1040	

高齢者叙勲



瑞宝双光章

藤井 章さん(88)
(上谷町)

地域社会の発展に貢献

「最後まで勤めることができたのは、市民の皆さんや職員の支えがあったから。受章は皆さんのおかげ」と話される藤井さん。
昭和24年に川上郡高倉村役場に入り、昭和29年、町村合併に

伴って高梁市役所に勤務し、建設課長、総務課長を歴任。昭和51年に収入役、昭和59年には助役に選任され、昭和63年の退任まで、豊富な経験と卓越した識見で地方行政に取り組み、地方自治の確立と地域社会の発展に貢献されました。

「在職中、いろいろなことがありましたが、やはり昭和47年の災害は忘れられません。市職員の方には、支え合う気持ちをお忘れず、仕事に取り組んでほしい」と話されています。



瑞宝双光章

岡村敏男さん(88)
(成羽町下原)

郵政業務の充実に貢献

「思いがけないことで、大変に驚いています。いつのまにか年を取っていたのですね」と話される岡村さん。

昭和13年に広島通信講習所に採用され、翌年、岡山郵便局に

勤務。岡山福島郵便局長代理、西大寺郵便局および玉野郵便局庶務会計課長を歴任し、昭和45年から成羽郵便局長を務められました。昭和58年の退職まで45年にわたり、郵便や貯金、保険の各種業務に精励。郵政業務の充実に貢献されました。

「苦手だった保険業務に携わることが多く、懸命に取り組んだことを思い出します。こちらに赴任してから始めた俳句は、今も続く趣味の一つになっています」と話されています。

地名を歩く

五十四 穴門山

「穴門山」は、山名とか字地名ではなく川上町高山市長田山の宮山にある「穴門山神社」のことです。川上町の西の端、吉備高原上にある高山市から権現谷の参道を約二キロ北へ下った谷筋に穴門山神社が鎮座しています。

参道入口の高山市は川上町と井原市芳井町の境が入り組んでいて、成羽、笠岡、備後東城を結ぶ往來の中継地点として市が立ち、物資の集散地として、また、穴門山神社の門前町として栄えた町で街村となっています。そして、江戸時代から牛市も開かれた博労座も残っています。

高山市の参道入口の石鳥居をくぐると、石灰岩地形を物語るドリーネの窪、そして急な権現谷を下ると谷底に穴門山神社の唐破風の本門や、随神門が懸崖の上に見え

ます。登っていくと、彫刻に忍冬唐草文様などが彩色され装飾性豊かな本殿や拝殿が見事で、本殿は単層・

三間社流造となっています。

現在の本殿は、寛永一四年(一六三七)、松山藩主池田長常によって再建されたと棟札にあつて(川上町史)、重要文化財となっています。また、宝暦元年(一七五一)、水谷出雲守勝英が寄進した石灯籠も残っています。神社の裏には鍾乳洞があつて清水が流れ、古くには鍾乳洞の信仰もあつたであろうことが考えられるのです。延喜式内社(延長五年(九二七)にできた延喜式という法典にある宮)で、旧県社でした。

神社の歴史は明らかでない点も多く、近くにあつた神宮寺という寺が宮を運営していたこともあつたといわれています。

中世室町時代に「穴戸郷」が「吉備津宮惣解文」(県古文書集)に河上郡六郷の一つとして見えていたり「吉備津宮流鏑馬料」の史料にも「穴斗」の地名が出ていて、現・備中町平川、富家から川上町北西部一帯が穴戸郷だったといわれています。「穴門山神社」の名称は中世以前から地域名にも使われていたと考えられます。「穴門」は鍾乳洞を意味していて、「門」は場所を示し、「の」の所」という意味もあつて、「出入口」、「谷間の険しいところ」を意味し、「穴」を語源にした地名から付けられた「穴門山」なのです。

(文・松前俊洋さん)



穴門山神社